

厚生労働科学研究費補助金（労働安全衛生総合研究事業）

分担研究報告書

労働災害防止対策の推進とESG投資の活用に資する調査研究

ESG評価会社の労働安全衛生に関する評価項目の情報収集

研究協力者 下田屋 毅 一般社団法人サ・グローバル・アライアンス・フォー・サステイナブル・サプライチェーン

研究代表者 永田 智久 産業医科大学産業生態科学研究所産業保健経営学 准教授

研究要旨：

本研究では、Environmental, Social and Governance (ESG) の観点から、ESG評価会社の労働安全衛生に関する評価項目にどのようなものがあるのかを明確にすることを目的とした。

各評価会社の評価項目は一般には非公開であるため、企業から特別に入手することのできた評価会社3社（FTSE Russell、MSCI、サステナリティクス）の質問票および報告書にどのような項目があるかを一覧表としてまとめ、特徴と共通点、相違点の調査を行った。共通点と相違点についての比較を実施することができた3社の共通項目は、「安全衛生方針等によるコミットメント」「管理体制、死亡者数/率」「休業災害発生率」「安全衛生方針が請負業者にも適用されるかどうか」の5つが共通し、ESG投資の視点で求められている共通項目を確認することができた。今回情報が非公開であることもあり、情報の入手が困難なこともあり、業界が統一されていない。今後は調査の対象の業界を、例えば労働安全衛生の情報開示がより求められている業界に絞って情報を入手するなどの必要がある。

研究協力者

研究協力者 豊原 智恵 一般社団法人サ・グローバル・アライアンス・フォー・サステイナブル・サプライチェーン

A. 目的

本研究では、Environmental, Social and Governance (ESG) の観点から、ESG評価会社の労働安全衛生に関する評価項目にどのようなものがあるのかを明確にすることを目的とした。

B. 方法

各評価会社の評価項目は一般には非公開であるため、企業から特別に入手することのできた評価会社3社 (FTSE Russell、MSCI、サステナリティクス) の質問票および報告書にどのような項目があるかを一覧化し (表1)、各社の特徴と共通点、相違点を調べた。FTSEに関しては住宅メーカー、消費財メーカー、総合電機メーカーから入手した質問票を調べた。MSCIは金属加工企業と住宅メーカーから入手したMSCIの報告書の内容を調べた。サステナリティクスについては情報通信系サブゼネコンから入手した報告書のみから調査した。またDJSIについては、商業サービス・用品に関する企業の質問項目について最終的に情報を入手することができたが、今回の一覧表に反映をすることができていないため共通点と相違点についても対象に含まれていない。

C. 結果

1. 対象項目の特徴

1) FTSE

FTSEのESGレーティングは特定のFTSEサステナブルインベストメントインデックスにおいてインデックス構成銘柄の適格性を判断するために使用されている。気候変動、コーポレートガバナンス、労働基準など特定のテーマに関する相対的な露出度 (exposure)、テーマスコアを加重平均したピラスコア、同業他社と比較した相対的なスコア、パーセンテージで表されたESG格付けなどで評価される¹⁾。

住宅メーカーA、消費財メーカーB、総合電機メーカーCの3社から入手したFTSEの質問票によると、AとCは聞かれている質問内容および質問数が同じであり、質問数はどちらも15であった。Bのみ質問数が11と少なかったが、質問内容はAとCと同じであった。

質問内容は、「安全衛生に関する方針について」「マネジメント層の関与」「リスク評価」「モニタリング」「トレーニング」「事故の発生について」であった。AとCのみに質問されていたものには次の4つがある。「安全衛生の改善に関する従業員の関与 (安全衛生委員会等の参加型イニシアチブ、労働組合等との経営上の議論)」「安全衛生に関するデータの取り扱い (第三者による検証、使用する国際保証基準と保証レベルの開示)」「過去3年間の業務上の従業員の死亡者数」「過去3年間の業務上の請負業者の死亡者数」。

2) MSCI

MSCI ESGフォーカスインデックスはESGに関するレーティング、ESGに関する負の要素、事業参画スクリーニング調査、気候変動指標を用いて設定される。MSCIについても企業への質問項目は非公開となっている。

ESGレーティングは、リーダー（AAA、AA）、平均（A、BBB、BB）から停滞層（B、CCC）までの7段階で企業のESGに関する総合評価を行う。スコアとパーセンテージによって同業他社と比較した各課題の管理度合いが分かる²⁾。

MSCIのESG格付けは、リスク危険度（リスクにさらされている度合い、exposure）とリスクマネジメントの2つの要素から導き出されている。リスク危険度スコアの主要な推進要因は、そのビジネスにおける死亡率や事故の発生率がどのくらいのビジネスであるのかというビジネスの種類、および、ビジネスを実施している国の従業員の死亡率で表されている。また、リスクマネジメントの主要な推進要因は、実践スコア、パフォーマンススコアから負の要素（controversies）をマイナスした数値で表される。

金属加工企業Aの2020年の報告書と住宅メーカーBの2017年の報告書より、次の8項目は共通して確認されている：「負の要素」「同業他社と比較した安全衛生指標のパフォーマンス（10段階評価）」「怪我発生数」「死亡者数」「認知される認証」「安全衛生戦略とパフォーマンスがサステナ

ビリティ委員会やタスクフォース、リスクオフィサーによって管理されているか」「安全衛生方針がグループ全体に適用されるか」「安全衛生パフォーマンスを改善するための目標」。

Aに特有の項目としては、「休業災害発生率」がある。Bはマネジメントの分野で次のより詳細な記載がある：「安全衛生の戦略とパフォーマンスがCEO/幹部や執行部によって管理されているか」「安全衛生方針は請負業者にも適用されるか」「安全衛生方針が監査で実施されるか」「安全衛生指標に請負業者も含んでいるか」「安全衛生のパフォーマンスが役員報酬の要因になるか」「パフォーマンスが記録されているか」。報告書の記載項目の違いが、業種によるのか報告年度によるのかは定かでない。

3) サステイナリティクス

サステイナリティクスは、モーニングスターグループの一員で、25年以上にわたり、世界中の投資家による責任投資戦略の開発と実践をサポートしてきたESG調査、レーティング、データ提供を行ってきた。40以上の産業分類で、分野横断的な専門知識を持つ200人以上のアナリストを有し、日本を含む世界16拠点で、数百社におよぶ世界有数の資産運用会社や年金基金と提携している。

サステイナリティクスのESGリスクレーティングは、企業の経済価値がESG要因

によってどの程度リスクにさらされているかを示している。リスクレーティングはコーポレートガバナンス、重要なESG課題(ESG Material Issues : EMI)、特殊なESG課題で構成されており、EMIへのアプローチとしてどの程度企業がEMIにさらされているのかと、EMIにさらされることの管理の2つの側面がある³⁾。

サステナビリティクスに関しては情報通信系のサブゼネコンの報告書から得られる情報をまとめた。マネジメントの観点で労働安全衛生に関する6つの指標が記載されている。安全衛生の管理システムに関するスコアには、「方針によるコミットメント」「管理責任」「災害認識とリスクアセスメントの手順」など、10の基準が設定されている。請負業者安全プログラムに関するスコアは、「事前の請負業者のスクリーニング」「安全管理に関するガイドラインの策定」「トレーニングを行う」など8の基準で評価される。それ以外のスコアとしては、「安全衛生認定」「休業災害度数率(LTIR)の傾向」「従業員の死亡率」「請負業者の死亡者数」がある。

4) DJSI

ダウジョーンズ・サステナビリティ・インデックス(DJSI)は、持続可能なビジネス慣行が長期的な株主価値を生み出すために重要であることを認識し、サステナビリティの信念を投資ポートフォリオに反映させたい投資家向けのクラス最高

のベンチマークとして位置づけられている。これは、1999年に最初の国際的なサステナビリティのベンチマークとして立ち上げられ、経済的、環境的、社会的基準の観点から世界の主要企業の株価のパフォーマンスを追跡している。

S&PダウジョーンズインデックスとSAMが共同で作成したDJSIは、確立されたインデックス・プロバイダーの経験とサステナビリティの投資のスペシャリストの専門知識を組み合わせ、61の業界から最もサステナビリティに配慮した企業を選択している。

インデックスは、サステナビリティの考慮事項をポートフォリオに統合する投資家のベンチマークとして機能し、企業が企業のサステナビリティの実践を改善することを奨励したい投資家に効果的なエンゲージメントプラットフォームを提供している。DJSIは、毎年S&Pグローバル企業持続可能性評価(CSA)から得られた企業のトータルでのサステナビリティのスコアに基づいて、透明性のある、ルールベースの構成要素選択プロセスを適用している。

DJSIの企業への質問項目についても、非公開であり、通常入手することができない。今回は特別に商業サービス・用品産業に居続けられる企業に対する2019年の質問項目を入手することができた。その内容として次の9項目が確認されている：「健康と福祉」「健康的なライフスタ

イルの奨励」「死亡者数（従業員及び委託業者の労働災害による死亡者数を記載し傾向を説明する）」「休業災害発生率（LTIFR：100万延べ実労働時間当たりの労働時間損失を伴う労災負傷者度数率）－従業員」「休業災害発生率（LTIFR：100万延べ実労働時間当たりの労働時間損失を伴う労災負傷者度数率）－委託業者」「業務委託業者の労働災害の度数率とそのデータが第三者によって検証されているか」「職業性疾病休度数率(OIFR)－従業員」

2. 共通点と相違点

共通点と相違点の対象は、FTSE、MSCI、サステナリティクスの3社。

（共通点）次の5つの項目は3社いずれの評価項目にも含まれていた。「安全衛生方針等によるコミットメント」「管理体制、死亡者数/率」「休業災害発生率」「安全衛生方針が請負業者にも適用されるかどうか」。

（相違点）FTSEはHIV/エイズ、結核、マラリアといった世界的な健康問題への取組を表明しているか、世界的な健康問題の要望と管理に関するプログラムを従業員やコミュニティ向けに行っているか」「安全衛生委員会や経営上の議論を通じての従業員の関与」「安全衛生データの検証」といった項目が他には無い点である。MSCIは、安全衛生方針がグループ全体に共有されているか、負の要素、認定

証の有無に関する項目が特有である。サステナリティクスは、緊急時対応策の有無と、請負業者に関してトレーニングや方針策定などまとまった項目が設定されている点が特徴的である。

D. 考察

共通点と相違点についての比較を実施することができたFTSE、MSCI、サステナリティクスの3社については、「安全衛生方針等によるコミットメント」「管理体制、死亡者数/率」「休業災害発生率」「安全衛生方針が請負業者にも適用されるかどうか」の5つの項目が共通しており、ESG投資の視点から、それぞれのESG評価会社のステークホルダーからの要求を満たす形で共通の項目として求められているものが確認することができた。しかしながら今回の調査から各評価会社のインデックスでは業界別に質問項目を変更していることあることも確認されるとともに、それらが非公開情報であり入手が困難な状況であったことから情報に関して業界を揃えることができていない。各インデックスの比較の実施において傾向は確認することができたものの、業界を合わせていないためにその比較が適当とはいえない状況となっている。今後の調査においては、ESGの視点から労働安全衛生に関する推進がより求められてきている業界を対象としていくつかの絞りを、それら対象の業界の企業からの協力を得て、非公

開の情報を入手した上で調査を進めていくことも検討する必要がある。

E. 結論

各評価会社の評価項目は一般には非公開であるため、企業から特別に入手することのできた評価会社3社（FTSE Russell、MSCI、サステナリティクス）の質問票および報告書にどのような項目があるかを一覧表としてまとめ、特徴と共通点、相違点の調査を行った。共通点と相違点についての比較を実施することができた3社の共通項目は、「安全衛生方針等によるコミットメント」「管理体制、死亡者数/率」「休業災害発生率」「安全衛生方針が請負業者にも適用されるかどうか」の5つが共通し、ESG投資の視点で求められている共通項目を確認することができた。しかしながら情報が非公開であることもあり、情報の入手が困難なこともあり、業界が統一されていない。今後は調査の対象の業界を、例えば労働安全衛生の情報開示がより求められている業界に絞って情報を入手するなどの必要がある。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

H. 知的財産権の出願・登録状況なし

なし

I. 引用・参考文献

1) FTSE Russell (2020) Guide to FTSE Sustainable Investment Data used in FTSE Indexes v1.0

2) MSCI (2020) MSCI ESG Focus Indexes Methodology

3) Sustainalytics (2020) ESG Risk Ratings - Methodology Abstract Version 2.1

4)

表1

	FTSE Russell	FTSE Russell	FTSE Russell (15項目)
Title	Guide to FTSE Sustainable Investment Data used in FTSE Indexes v1.0		
SHS	住宅メーカー(15)	消費財メーカー (11)	総合電機メーカー(15)
1	Health and safety policy or commitment statement which:	Health and safety policy or commitment statement which:健康と安全に関する方針	QHealth and safety policy or commitment statement which:以下のことを行う安全衛生方針またはコミットメントステートメント
	a) Identifies the issue as relevant and important	//	a) 関連し重要である問題を識別する、b) 請負業者またはその他の外部ステークホルダーに適用される
	b) Applies to contractors or other external stakeholders		QCompany statement on programme(s) to address global health issues including:以下の内容を含む世界的な健康問題に取り組むプログラムに関する会社の表明書:
2	Company statement on programme (s) to address global health issues including	Company statement on programme(s) to address global health issues including: 世界的な健康問題に対処するためのプログラムに関する会社の声明	a) HIV/エイズ、b) 結核、c) マラリア
	a) HIV/ AIDS	//	QBoard oversight of health and safety:安全衛生の監視委員会:
	b) Tuberculosis	//	a) 安全衛生リスクの管理に関する取締役会または取締役会委員会の監督のエビデンス
	c) Malaria	//	b) 取締役会レベルで責任ある立場の役職名
3	Board oversight of health and safety	Board oversight of health and safety:健康と安全に対する取締役会の監督	QRisk Assessment carried out regarding health and safety for:以下の事項に対する安全衛生リスクアセスメントの実施:
	a) Evidence of board or board committee oversight of management of health and safety risks	//	a) 可能性がある新たな事業やプロジェクト(デュエリジェンス)
	b) Named position responsible at Board level	//	b) 既存事業またはプロジェクト
4	Risk Assessment carried out regarding health and safety for	Risk Assessment carried out regarding health and safety for:リスク評価	QEmployee involvement in health and safety improvements, through: 以下の取り組みを通じた安全衛生の改善に関する従業員の関与:
	a) Potential new operations or projects (due diligence	//	a) 従業員の安全衛生委員会等の参加型イニシアティブ
	b) Existing operations or projects	//	b) 労働者代表または労働組合との安全衛生に関する経営上の議論の場
5	Employee involvement in health and safety improvements, through:		QPerformance monitoring and management of health and safety, demonstrated by:以下による安全衛生の業績モニタリングと管理:
	a) Participative initiatives such as employee health and safety committees		a) 以前に設定された目標に対する業績と進捗状況、b) 業界標準に関する業績のベンチマーク
	b) Management discussions on health and safety with worker representatives or trade unions		QFor health and safety data, there is:安全衛生に関するデータについては以下の行動を取る:
8	Performance monitoring and management of health and safety, demonstrated by	Performance monitoring and management of health and safety, demonstrated by: 健康、安全の管理とパフォーマンスのモニタリング	a) 第三者による独立した検証、b) 使用する国際保証基準と保証レベルの明白な開示
	a) Performance and progress against previously set targets		QProgramme regarding prevention and control of at least one global health issue which applies to:以下にあってはまる少なくとも1つの世界的な健康問題の予防と管理に関するプログラム
	b) Performance benchmarking against industry standards		a)従業員、b)コミュニティ
10	For health and safety data, there is:		QPercentage of sites with OHSAS 18001 certification OHSAS 18001 認証を取得した現場の割合
	a) Independent Verification by a third party		年度、認証の対象範囲(現場の割合)
	b) Clear disclosure of the international assurance standard used and the level of assurance		QNumber of staff trained on health and safety standards within the last year 昨年中に安全衛生基準に関する訓練を受けたスタッフ数

	FTSE Russell	FTSE Russell	FTSE Russell (15項目)
11	Programme regarding prevention and control of at least one global health issue which applies to:	Programme regarding prevention and control of at least one global health issue which applies to: 少なくとも1つの世界的な健康問題の予防と管理のための取組	年度、安全訓練を受けたスタッフ(安全を含む一般的な訓練)
	a) Community		QLost-time incident rate, over last three years 過去3年間の損失時間事故率
	b) Employees		補償範囲、損失時間の定義、今年度、今年度損失時間事故率、
12	Percentage of sites with OHSAS 18001 certification	Percentage of sites with OHSAS 18001 certification OHSAS 18001 認定を受けた事業所の割合	T-1年度、T-年度損失時間事故率、T-2年度、T-2年度損失時間事故率、
		SHS12_1 Year	データ型(従業員または従業員+請負業者)
		SHS12_2 Coverage of certification (percentage of sites)	QIn cases of accidents or incidents leading to injuries or fatalities, the company discloses: 負傷または死につながる事故や災難が発生した場合、当社は以下を開示している。
13	Number of staff trained on health and safety standards within the last year	Number of staff trained on health and safety standards within the last year 健康と安全の基準に関するトレーニングを受けたスタッフの数	a) 報告された事件の調査と所見、または負傷者や死亡事故に至る健康・安全インシデントが発生していないこと
		SHS13_1 Year	b) 報告された事件に続く行動、または負傷者や死亡事故に至る安全衛生インシデントが発生していないこと
		SHS13_2 Staff trained on safety	QNumber of work-related employee fatalities, over last three years 過去3年間の業務上の従業員の死亡者数
		SHS13_3 Staff trained (General training which includes safety)	Coverage, Current Year, Current Year Fatalities, T minus 1 Year, T-1 Fatalities, T minus 2 Year
15	Lost time incident rate, over last 3 years	Lost time incident rate, over last three years 過去3年以上の休業事故発生率	T-2 Fatalities
		SHS15_1 Current Year	QPolicy or commitment statement on reducing health and safety impact through: 安全衛生への負荷低減に関する方針またはコミットメントステートメント
		SHS15_2 Current Year Lost Time Incident Rate	a) 継続的改善へのコミットメント、b) インシデントを削減するための期限付き計数目標
		SHS15_3 T minus 1 Year	QNumber of work-related contractor fatalities, over last three years 過去3年間の業務上の請負業者の死亡者数
		SHS15_4 T-1 Year Lost Time Incident Rate	T-2 Total number of Contractors, Coverage, Current Year, T-0 Contractor Fatalities,
		SHS15_5 T minus 2 Year	T-0 Total number of Contractors, T minus 1 Year, T-1 Contractor Fatalities,
		SHS15_6 T-2 Lost Time Incident Rate	T-1 Total number of Contractors, T minus 2 Year, T-2 Contractor Fatalities,
		SHS15_7 Coverage	
		SHS15_8 Definition of lost time	
		SHS15_9 Data Type (Employees OR Employees+Contractors)	
37	In cases of accidents or incidents leading to injuries or fatalities, the company discloses	In cases of accidents or incidents leading to injuries or fatalities, the company discloses けがや死亡につながる事故や事件が起きた場合	
	a) Investigations and findings of reported incidents	a) Investigations and findings of reported incidents, or that no	
	b) Actions following reported incidents	b) Actions following reported incidents, or that no health & safety	
38	Number of work related employee fatalities, over last 3 years		
39	Policy or commitment statement on reducing health and safety impact through:	Policy or commitment statement on reducing health and safety impact through: 健康や安全への影響を軽減するための方針	
	a) Commitment to continuous improvement		
	b) Time specific, quantitative targets to reduce incidents		
40	Number of work related contractor fatalities, over last 3 years		

	FTSE Russell	MSCI	Sustenalitycs
Title	Guide to FTSE Sustainable Investment Data used in FTSE Indexes v1.0		
SHS	住宅メーカー(15)		
1	Health and safety policy or commitment statement which:	H&S strategy and performance is managed by CEO	S1.6.2.1 Health and Safety Management System
	a) Identifies the issue as relevant and important	H&S strategy performance is managed by Senior Executive or Executive Committee	formal health and safety policy commitment
	b) Applies to contractors or other external stakeholders	H&S strategy performance is managed by Sustainability Committee, H&S task force or risk officer	managerial responsibility for health and safety issues
2	Company statement on programme (s) to address global health issues including	H&S Policy is group-wide	procedures for hazard identification and risk assessment
	a) HIV/ AIDS	H&S policy applies to contractors	regular health and safety training programmes for employees
	b) Tuberculosis	H&S policy is enforced with auditing	operating guidelines or procedures that are relevant for industry
	c) Malaria	Inclusion of contractors in health & safety metrics	targets to reduce health and safety incidents
3	Board oversight of health and safety	Health & Safety performance as factor in executive compensation	emergency preparedness procedures
	a) Evidence of board or board committee oversight of management of health and safety risks	Performance: performance track record of	performance monitoring and measurement
	b) Named position responsible at Board level	Contraversies:	internal or external health and safety audits conducted at least every three years
4	Risk Assessment carried out regarding health and safety for	Performance on Health&Safety Metrics Relative to Peers	reporting on helath and safety programmes and performance
	a) Potential new operations or projects (due diligence)	Total recordable Injury Rate	
	b) Existing operations or projects	Fatalities	S1.6.4 Health & Safety Certifications
5	Employee involvement in health and safety improvements, through:	Governance and Strategy: Percentage of the company's health& safety system certified to OHSAS 18001	S 1.6.5 LTIR Trend
	a) Participative initiatives such as employee health and safety committees	Governance and Strategy:Evidence of Recognized Certification	S1.6.6 Employee Fatality Rate
	b) Management discussions on health and safety with worker representatives or trade unions	Targets: target to improve H&S performance	S2.3.5 Contractor Safety Programme
8	Performance monitoring and management of health and safety, demonstrated by	Lost Time Incident Rate	Policy commitment to protect the safety of contractors
	a) Performance and progress against previously set targets		Prescreening of contractors for safety performance and risks
	b) Performance benchmarking against industry standards		Operating guidelines on contractor safety management
10	For health and safety data, there is:		Safety traning for contractors
	a) Independent Verification by a third party		Compliance with safety guidelines included in contractual agreements
	b) Clear disclosure of the international assurance standard used and the level of assurance		Objectives or targets regarding contrantor safety

	FTSE Russell	MSCI	Sustenalitycs
11	Programme regarding prevention and control of at least one global health issue which applies to:		Monitoring of contractor safety performance
	a) Community		Reporting on contractor safety management
	b) Employees		S2.2.6 Contractor Fatalities
12	Percentage of sites with OHSAS 18001 certification		
13	Number of staff trained on health and safety standards within the last year		
15	Lost time incident rate, over last 3 years		
			共通の項目
			特徴的な項目
37	In cases of accidents or incidents leading to injuries or fatalities, the company discloses		
	a) Investigations and findings of reported incidents		
	b) Actions following reported incidents		
38	Number of work related employee fatalities, over last 3 years		
39	Policy or commitment statement on reducing health and safety impact through:		
	a) Commitment to continuous improvement		
	b) Time specific, quantitative targets to reduce incidents		
40	Number of work related contractor fatalities, over last 3 years		